

錦江に生きる

にしゅうににん目

君付 忠和さん
きみつぎ ただかず

(上原自治会)

▼田代夏祭りで会場を盛り上げようと水戸黄門に変装した忠和さん



▲優しく語りかけながら治療をする忠和さん



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第22回目は、上原自治会の君付忠和さんです。

「もう少しだからね、頑張って！」獣医師の君付忠和さんの職場を訪ねると診察室から誰かと話をする音が聞こえてきた。会話の相手は後ろ足が動かなくなり手術を受けた猫だった。「ほら歩いてごらん。もう大丈夫だよ。恐る恐る歩き始めた猫に「よかったね、また歩けるね」と満面の笑みで語りかける忠和さんの横顔は、初めて歩いた我が子を見よめる父親の顔と変わらなかった。

田代地区に動物病院を開業しようと思ったきっかけは何ですか。と質問すると、「地図を広げてコンパスをあてると、ここが中心なんだ。ここなら南陽地区、内之浦にも30分くらいで行ける。救急の動物たちにとって一番地の利がいいんだよ。」と答えた。15年前の田代地区だと正直、ニーズは少なかったと思うのですが、とさらに質問すると、「最初は反対もされたし、予防接種だって『うちの猫、最近元気ないんで元気になったら注射打ちに連れてきますね』みたいに動物病院として認識してもらうまで結構大変だったよ。」と笑った。続けて「でも、この町には産産として絶対に畜産は必要だし、今ではベトナムを飼うお年寄りなども増えてきたから、みんな近くに病院がある安心感を感じてもらえたり、自分のやりたい研究などを地域に役立てることが出来て、この町に開業して本当に良かった。」と破顔した。

忠和さんの話の中にはよく地域貢献という言葉が出てくる。実際、会話からは地域に貢献したいという熱い思いがヒシヒシと感じられた。現在は、獣医師として生産牛などの研究はもちろん、畜産農家や家族の一員であるみんなの動物の為、24時間365日病院を開業することはない。また、愛犬家の方たちと『ワンワンパトロール隊』を結成し、地域の防犯に「役買」している。運営資金はそこから出るのが質問すると、「飲み仲間話をして、飲ん方の会費の部を寄付してもらっている。好きな飲ん方でも地域貢献！これすばらしいでしょ！」と笑った。さらには、ジョイサウンドというジャズバンドを結成して音楽が好きな若者の活動の場になればと頑張っている。

忠和さんの地域への思い入れは強く、「若者のパワーが世の中を変える。若い人達は、インスピレーションを感じ自分の理想像を信じて、それを生かす方法を常に考えて欲しい。大人たちは、最初は認めないかもしれない。だけど、自分を信じて突っ走れば必ずその先には成功が見えてくる。だから、『気付き』を大切に頑張るってほしい。大人である自分達は、若者が地域に残れるように頑張ることも使命のひとつ。『親の背中を見て子は育つ』自分たちが仕事に楽しさを持って、子供たちに見てもらいたいと思える背中を作っていく。地域が一体となって、もっと盛り上がりつつ。何事にも一生懸命取り組んでいけば、それが自分の繁栄、周りの繁栄、地域の繁栄、ひいては心の繁栄に繋がっていく。だから、大人も子どももみんな一生懸命頑張っていきたい。」と熱く語った。

最後に一言お願いしますと、「二人でしゃべってごめんね。俺、講演とかでもしゃべりすぎちゃって時間足りなくなるとだよわ。」と照れ笑いを浮かべた。地域への想いは、いくら話しても尽きないほどなのだろう。

忠和さんは、自分のため、家族のため、地域のため、みんなのため、365日休まず、一生懸命突っ走る。

錦江町

おもいで 思ひ出写真館



昭和37年頃
本町出身の幕内力士・大雄関
田代後援会発足式での記念写真
提供 田中正一さん(上原自治会)

▶ 写真のご協力を
お願いします。◀

「錦江町思ひ出写真館」に掲載する写真を募集します。

撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。

お借りした写真は責任を持ってお返しします。